

原発ゼロへの誓い新たに 140名がつと い 知事申し入れ総決起集会

3日、上越文化会館で「つながろうフクシマ! さようなら原発 知事申し入れ総決起集会」が、市民約140名の参加で行われました。

この集会は、原発再稼働に慎重姿勢をとっている泉田知事に、その姿勢を貫くよう署名を添えて申し入れようと、企画されたものです。



集会の最後に「団結ガンバロー」で締めくくる、左から主催者代表の馬場弁護士、小山県議、竹島県議

冒頭、主催者として、「つながろうフクシマ! さようなら原発 上越地域連絡会」代表の馬場弁護士が、「沖縄の仲井真知事はじめ裏切る人もいるが、市民の力で追い込んでいこう」と挨拶

市民のみなさんのご意見をおききする会 —新水族博物館をめぐるって—

2月23日(日) 18:30~20:30
レインボーセンター第3会議室
入場無料 どなたでも参加できます
率直なご意見をお待ちしています
ふるってご参加ください
主催 日本共産党議員団



日本共産党上越市議員団ニュース

No.396 2014年2月9日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

しました。

続いて、小山芳元、竹島良子両県議が情勢を報告しました。

竹島県議は、「国の示した新規制基準は、安全を保証するものではない。また、避難計画は自治体任せになっている。その背景には、あいかわらずの安全神話と人命軽視の考えがある」と指摘しました。そして、「知事は原発再稼働に慎重な姿勢であり、この姿勢を取り続けられるかが注目される。もともと原発容認だった知事は、福島事故後変わった。これは、知事自身の事故への認識もあるが、大きな要因は、『原発はいらない』という県民世論の力。知事の姿勢を保たせるためにも、さらに運動を盛り上げていこう」とまとめました。

「これでは市民は納得できない」 共産党議員団が調査委員会に徹底究明を申し入れ

申 入 書

今般、問題になっておりますガス水道局の本支管工事発注に関する談合疑惑に関し、貴職は、1月24日、上越市議会建設企業常任委員協議会に対して中間報告を行い、この間の聞き取り調査の結果、関係業者により申述内容に違いがあること、全容が未だ解明されてはいないことなどを明らかにしました。しかし貴職は、必要に応じてさらなる聞き取り等を行うとしてはいるものの、聞き取り調査は基本的に終了したとして、今後その調査結果を分析し、報告書にまとめる計画であるとも述べられました。

率直に言って、これまでの報告は、このたびの疑惑を解明するに至るものではなく、このままでは市民の納得を得られないと考えます。

つきましては、この問題の全容が、市民が納得できる形で徹底的に解明されるよう、さらに取り組みを強められるよう、申し入れます。

なお、以下に、私どもが徹底究明のために必要だと思うことをいくつか掲げさせていただきましたので、これらの点についても、ご検討くださるようお願いいたします。

記

- 1 談合の存在など、基本的な点において、聞き取りを行った関係業者間に大きな食い違いがある。この食い違いを曖昧にすることなく、必要な資料を求めて、さらに調査を継続すべきであること。
- 2 聞き取りに応じたある業者によると、他に提出できる資料があることを明らかにしたにもかかわらず、提出を求めなかったとのことであるが、談合疑惑を解明するためには、徹底した情報収集を行うなどの努力が必要であること。
- 3 官製談合疑惑については、中間報告で、「調査の結果、予定価格や最低制限価格または設計額の全部または一部を業者など部外の第三者に漏えいした者は認められなかった」としているが、伝聞情報についてのべた3事業者の不一致については大いに疑問があるので、再度、調査すること。

既報の通り、ガス水道局の本支管工事をめぐる談合疑惑問題では、ガス水道談合情報等調査委員会が、先ごろ中間報告をしました。

しかし、この報告では、業者の主張の食い違いや不明な点が多く、問題の全容を明瞭に示すことができていない。そこで、日本共産党議員団は1月30日、同委員会の宮越浩司委員長(ガス水道局長)に対し、左の通りの申し入れを手渡し、徹底解明を求めました。

申し入れを受け取った宮越委員長は、「権限の範囲内で調査する」としたほか、疑惑がはっきりした場合、逆に調査で解明しきれない場合は、公正取引委員会などの捜査当局に告発することも視野に入れて示唆しました。

**市民とともに
談合疑惑解明を
求めるつと い**

2月11日(火・祝) 13:30~15:30
市民プラザ第2会議室
みなさんの率直なご意見、疑問などを
お寄せください。主催 日本共産党議員団